令和７年１月２８日

教育委員会第１回定例会記録

石巻市教育委員会

教育委員会第１回定例会記録

◇開会年月日　　令和７年１月２８日（火曜日）　　午後　２時３０分開会

午後　４時３７分閉会

◇開催の場所　　本庁舎４階　庁議室

◇出席委員等　　５名

教　育　長		宍　戸　健　悦
委　　員	（教育長職務代理者）	今　泉　良　正
委　　員		梶　谷　美智子
委　　員		大　和　千　恵
委　　員		依　田　晴　美

◇出席職員

事務局長	冨　澤　成　久
事務局次長	今　野　良　司
事務局次長（教育・文化芸術振興担当）	工　藤　聖　子
学力向上推進監	仲　上　浩　一
教育総務課長	赤　坂　将　人
学校再編推進室長	星　　憲
学校教育課長	福　田　光　一
学校安全推進課長	佐々木　　伸
学校管理課長	土　田　順　平
生涯学習課長兼博物館長	高　橋　秀　和
石巻中央公民館長	髙　橋　伸　明
図書館長	瀬　川　信　行

◇書　　記

教育総務課長補佐	成　澤　和　彦
教育総務課総務係長	平　塚　悦　子
教育総務課主事	遠　藤　真　美

◇付議事件

一般事務報告

・教育長報告

・石巻市文化芸術支援事業補助金の創設について

・令和７年石巻市成人式の実施結果について

報告事項

・報告第１号　令和８年度石巻市立高等学校入学者選抜方針及び日程について

審議事項

・第１号議案　第２期石巻市教育振興基本計画実施計画【令和６年度改定版】（案）について

その他

午後２時３０分　開会

○宍戸健悦教育長　それでは、ただいまから令和７年第１回定例会を開会いたします。

本日の会議ですが、欠席委員はおりません。

会議録署名委員の指名

○宍戸健悦教育長　それでは、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は今泉委員にお願いいたします。

よろしくお願いします。

教育長報告

○宍戸健悦教育長　それでは、本日の案件に入ります。

本日の案件は、一般事務報告が３件、報告事項が１件、審議事項が１件、その他となっております。

それでは一般事務報告に入ります。

初めに、私から報告をいたします。

今月の学校、幼稚園の状況について報告をいたします。１月８日に第３学期の始業式を行い、順調にスタートを切りました。コロナウイルスとあわせてインフルエンザの感染者も報告がありましたが、ほとんどの学校が通常どおりの始業式を行うことができました。しかし、２週目以降、インフルエンザによる学級閉鎖が発生しており、重篤な状況になる事例も見られ、今後とも各学校、園において、インフルエンザやコロナ感染症等の感染状況の把握と感染拡大防止について、学校医の指導を受けながら対応するとともに、市全体の感染状況を注意深く把握し、情報共有と注意喚起を行ってまいりたいと考えております。また、中学校では、高校入試関係が始まっており、万全の体制で臨ませたいと考えております。今年もコロナ等の感染者に対する再受験の機会もありますので、事前にしっかり周知し、不安解消に努めてまいります。さて、新年最初の行事でありました石巻市成人式は、各会場とも予定どおり開催することができました。教育委員の皆様にも御参列頂き、感謝申し上げます。

また、２１日火曜日に開催されました宮城県市町村教育委員会教育委員・教育長研修会に御参加を頂きありがとうございました。県教委からの次年度事業等についての情報提供もありましたので、今後、事務局において参考にしてまいりたいと考えております。その中で、架け橋期のプログラムについて実践研究の話題がありましたが、石巻市も幼児教育センターを今年度立ち上げ、幼保園及び小学校を訪問し、情報共有を図ってまいりました。本市には公立、私立合わせて幼児教育関係施設が４８か所あり、小学校の担当者を含めた研修会を毎年実施しております。さらに今年度は、幼児教育施設園長所長懇談会を開催し、施設類型を問わない、各施設の長を務める先生方の顔が見える関係づくりの機会といたしました。今後も幼児教育センターだよりなどを通じて、架け橋期の幼児教育充実等、保護者の理解促進を図ってまいりたいと思います。

次に、令和７年度の施政方針や、当初予算並びに各種条例改正等について話し合われる市議会第１回定例会は２月１２日水曜日から開催され、３月１９日水曜日までの予定となっております。

これで私からの報告を終わります。

何か御質問ございませんか。

（「なし」との声あり。）

石巻市文化芸術支援事業補助金の創設について

なければ次に、「石巻市文化芸術支援事業補助金の創設について」の報告を生涯学習課長からお願いいたします。

○高橋秀和生涯学習課長兼博物館長　石巻市文化芸術支援補助金の創設について、御説明をさせていただきます。

表紙番号２の１ページを御覧願います。文化芸術活動は、主体的な体験により自信が高まり、精神的な活力が向上する効果があります。東日本大震災以降、本市においても様々な団体・企業の御支援により文化芸術活動が行われ、心の復興に寄与してきたところですが、活動資金の問題等から事業継続が困難な状況となってきています。そこで、市民参加型の文化芸術活動を支援することにより、文化芸術に参加する機会を提供することを目的としています。

③につきましては、記載のとおりです。

④の提案に至るまでの経過は、令和６年１０月に総合計画実施計画が裁定され、令和７年１月に令和７年度当初予算の裁定を受けています。

⑤の主な内容の１．補助対象事業及び交付対象者についてですが、補助対象事業は二つあり、一つ目は、カンタータ大いなる故郷石巻です。これは１０年に１度、文化協会が主となり行っている事業です。二つ目は、石巻第九です。これはこれまでに２回開催しています。２．補助対象経費については、事業に直接必要な経費とし、次に掲げる経費は除くものとして、（１）から（４）に記載の費用については対象外としています。３．補助金額については、対象経費の２分の１以内の額とし、上限額は予算の範囲内としています。

⑥の実施した場合の影響効果は、市民が文化芸術活動に自ら参加することにより、自信の高まりと明日への活力が生まれ、心の豊かさが醸成されるというものです。市財政の負担は、令和７年度当初予算の額で４００万円です。財源は、がんばる石巻応援基金ということでふるさと納税の積立基金からの充当となります。

⑦の他の自治体の政策との比較検討は、仙台市、多賀城市、岩沼市、登米市等におきまして、対象者や金額等は違いますが、文化芸術イベントの開催支援の補助制度を設けています。

⑧の今後の予定及び施行予定年月日は、来月から開会されます市議会第１回定例会に関係予算案について提案をさせていただき、可決されましたら、３月に文化芸術支援事業補助金交付要綱を制定する予定でして、施行予定年月日は令和７年４月１日です。

○宍戸健悦教育長　ただいまの報告に対しまして、御質問等ございませんか。

依田委員。

○依田晴美委員　補助対象経費について、事業運営に関わるスタッフ等への日当及び費用弁償となっていますが、例えば、石巻第九では、必ずソリストをお呼びすると思いますが、ソリストの方はスタッフ等に含まれるのでしょうか。

○宍戸健悦教育長　生涯学習課長。

○高橋秀和生涯学習課長兼博物館長　こちらは、事業の運営側のスタッフとなりますので、ソリストの出演料は補助対象外となります。

○依田晴美委員　それだとよかったと思います。市民の負担が減るような形で開催できるのが望ましいと思いましたので質問させていただきました。

○宍戸健悦教育長　それでは、ほかに御質問ございませんか。

（「なし」との声あり。）

令和７年石巻市成人式の実施結果について

なければ次に、「令和７年石巻市成人式の実施結果について」の報告を生涯学習課長からお願いします。

○高橋秀和生涯学習課長兼博物館長　成人式の開催に際しまして、教育委員の皆様方には本当にお忙しい中、御参列を頂きまして、誠にありがとうございました。

それでは、表紙番号２の３ページをお開き願います。成人式は、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことを目的としています。実施期日及び会場は、１月５日日曜日の１４時から桃生地区、１月１２日日曜日の１１時から河南、北上の２地区、１４時から石巻、河北、雄勝、牡鹿の４地区で実施しました。対象者数については表の合計欄を御覧ください。対象者は平成１６年４月２日から平成１７年４月１日までに生まれた方で令和６年１１月末現在の住民登録者数となっており、男性６３１人、女性５８６人、合計１，２１７人です。当日の出席者数は、男性４２７人、女性３６７人、合計７９４人、市外に住所がある方の出席者数が１６６人で、総出席者数につきましては９６０人、出席率は７８．９％でした。

裏面４ページをお開きください。４の成人式実行委員会の活動内容ですが、例年に引き続き、全地区において新成人による実行委員会を組織し、当日の受付、司会、アトラクションの企画・運営など多岐にわたって御活躍しています。各地区のアトラクション等の内容については、記載のとおりですが、誓いの言葉、恩師からのお祝いメッセージ、記念写真撮影などを実施しています。

○宍戸健悦教育長　それでは、ただいまの報告に対して御質問等ございませんか。

（「なし」との声あり。）

報告第１号　令和８年度石巻市立高等学校入学者選抜方針及び日程について

なければ次に、報告事項に入ります。

報告第１号「令和８年度石巻市立高等学校入学者選抜方針及び日程について」の報告を受けたいと思います。学校教育課長から説明をお願いします。

○福田光一学校教育課長　報告第１号令和８年度石巻市立高等学校入学者選抜方針及び日程について御説明申し上げます。

表紙番号１の１ページから３ページを御覧ください。令和８年度石巻市立高等学校入学者選抜方針及び日程につきましては、石巻市教育委員会教育長事務委任等に関する規則第４条第１項第１５号の規定により、令和６年１２月２３日付けで専決しましたので、同条第３項の規定により報告いたします。令和８年度石巻市立高等学校入学者選抜は、宮城県立高等学校、仙台市立高等学校とともに公立高等学校入学者選抜として行うことになっており、要綱、問題、出題方針及び選抜方法が同一であることから、同じ選抜方針及び日程となります。なお、石巻市の選抜方式については、昨年度と変更ありません。

○宍戸健悦教育長　それではただいまの報告について、何か御質問ございませんか。

（「なし」との声あり。）

第１号議案　第２期石巻市教育振興基本計画実施計画【令和６年度改訂版】（案）について

なければ次に、審議事項に入ります。

第１号議案「第２期石巻市教育振興基本計画実施計画【令和６年度改訂版】（案）について」を議題といたします。教育総務課長から説明をお願いします。

○赤坂将人教育総務課長　ただ今上程されました第１号議案「第２期石巻市教育振興基本計画実施計画【令和６年度改定版】（案）」について御説明申し上げます。

別冊を御覧ください。

本市の教育が目指す基本的な方向性や取り組んでいく施策を示すものとして、「第２期石巻市教育振興基本計画」を令和４年３月に策定しました。令和４年度から令和８年度までの５年間を計画期間とした本計画に合わせ、実施計画を令和５年１月に策定し、基本計画において掲げた施策目標、基本施策を計画的かつ実効性のあるものとして取り組んできたところです。令和６年１月にさらなる目標の達成に向け、各基本施策における実施事業を見直し、その目的や指標を精査することで、これまでの実施計画における課題解決を図るため、実施計画【令和５年度改定版】を作成いたしました。

しかしながら、上位計画である「第２次石巻市総合計画実施計画」における各事業の目標値等の見直しが行われたことから、その整合性を図るとともに、教育委員会として計画期間中に生じた状況変化に対応するため、重点的に取り組むべき事業を改めて見直し、取組をさらに実効性のあるものとするため【令和６年度改定版】を新たに策定いたしました。

それでは、実施計画令和６年度改定版（案）の主な変更箇所について御説明申し上げますので、資料の１ページをお開き願います。

１の計画改定の趣旨については、ただいま申し上げましたとおりです。次に、資料の３ページ、５の第２期石巻市教育振興計画実施計画における評価を御覧ください。本実施計画は令和４年度から令和８年度までが計画期間となっておりますが、初年度である令和４年度の評価及び２年度目となる令和５年度の評価を掲載しております。

次に、資料の５ページを御覧ください。施策別事業計画には施策別事業計画一覧（令和６年度から令和８年度）として、５ページから９ページまで基本計画に掲げた２１の基本施策ごとに、その施策の展開における事業名と担当課を一覧にして掲載しております。今回の改定にあたり、これまでの実施計画においては、１０５事業あった事業を１０４事業に見直しております。達成目標が類似している事業を統合するなどの見直しを行ったほか、掲載の事業名についても、総合計画掲載事業名との整合性から修正を行いました。

そのうちの主なものを御説明いたします。５ページの事業番号１２番の学校安全対策推進事業は、これまで掲載のあった安全・安心整備事業と通学路環境整備事業を整理・統合し掲載したものです。また、総合計画掲載事業名との整合性から事業名の修正を行った事業は、事業番号１７番の小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業、６ページ、事業番号３３番のブックスタート事業、事業番号３６番のいじめ・生徒指導問題対策事業、７ページ、事業番号

５９番のスクールソーシャルワーカー配置事業、事業番号６７番の私立幼稚園運営費助成事業、８ページ、事業番号７２番の防災教育充実事業となっています。また、新たに掲載した事業は、５ページ、事業番号２２番の学校給食費徴収システム導入事業、６ページ、事業番号４７番の学校給食費保護者負担軽減事業となっております。

次に、教育委員会として特に重点をおいて取り組んでいく必要のある重点取組事業については、星マークをつけて掲載しておりますが、今回の改定にあたっては、総合計画との整合性及び現在の状況変化から設定を見直し、３７事業から３２事業に整理しております。新たに重点取組事業として設定した事業としましては、６ページ、事業番号２６番の学力向上推進事業（全国学力学習状況調査結果分析）、事業番号３４番の電子図書整備事業、事業番号３６番のいじめ・生徒指導問題対策事業、事業番号３９番のふるさと子どもカレッジ事業、事業番号４３番の中学校における部活動指導員の配置支援事業、事業番号４８番の国際理解教育推進事業、８ページ、事業番号８１番の協働教育推進事業、９ページ、事業番号８９番の読書環境整備事業の８事業となります。

次に、重点取組事業における事業指標等の修正を行った主な事業について御説明いたします。２８ページ、事業番号６１番の石巻市学びサポートセンター事業については、活動指標を「学びサポートセンター開所日数」から「自学自習できる通所児童生徒の割合（一部自学自習含む）」に変更、成果指標を「通所児童生徒の再登校率（部分登校を含む）」から「希望進路の達成率」に変更しております。３１ページ、事業番号６９番の地域交流活動、異年齢、異世代交流活動推進事業の成果指標を「交流参加人数（延べ人数）」から「楽しく交流できたと感じる割合」に変更しております。３３ページ、事業番号７２番の防災教育充実事業の成果指標を「安全に配慮して主体的に行動できる児童生徒の割合」から「各学校・園の避難訓練における総合評価Ａの割合」に変更しております。３７ページ、事業番号８３番のコミュニティ・スクール推進事業の活動指標を「学校運営協議会の設置校数（小・中・高）」から「学校運営協議会開催回数」に変更、成果指標を「学校運営協議会開催回数」から「地域と学校が協働した活動回数」に変更しております。３９ページ、事業番号８６番の公民館高齢者等生きがいづくり学習活動推進事業の活動指標を「教室・講座数」から「参加者数（延べ）」に変更、成果指標を「受講者数（延べ）」から「ＱＯＬ（クオリティオブライフ）の向上の割合」に変更しております。ただいまお示しした事業以外につきましても、第２期石巻市総合計計画の指標と整合性を図るために文言修正や、現状に沿った目標値のために上方修正等の見直しを行っております。細かい修正部分につきましては、時間の都合上、説明を省略させていただくことについて、御了承をお願い申し上げます。

本実施計画の進行管理については、各事業の進捗を図る事業指標と年度別の達成目標値を定めており、毎年、各担当課において精査を行い、進捗状況を把握していくこととしております。

以上で第２期石巻市教育振興基本計画実施計画【令和６年度改定版】（案）についての説明を終わります。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○宍戸健悦教育長　それでは、ただいまの説明に対して御質問等ございませんか。

梶谷委員。

○梶谷美智子委員　何点か確認させていただきたいと思います。一つ目は、１７ページの取組内容に「協同的な学びの充実」という表現があります。「協働的な学びの充実」というのは、文科省でも言われていることですが、他者と協働しながら問題解決を行う学習法として意味ですと、協力の協に働くという表現になると思うのですが、ここであえて、「共同的」という漢字を使用している理由を教えていただきたいです。

二つ目は、２３ページの基本施策４の取組内容に、「情報モラルについて学ぶ情報教育の充実」とあります。情報モラルは、情報を正しく、倫理的に扱うと捉えられると思うのですが、現在は情報に関わる問題も多く出てきていて、情報リテラシーという言葉も多く聞くようになりました。つまり、必要な情報を探し出して、どのように正しく使いこなすかという部分だと思います。このリテラシーについても、情報教育の充実ということで、取り入れることを考えていく必要があるのではないかと思ってお話しをさせていただきました。

三つ目は、３９ページ、８９番の読書環境整備事業です。活動の指標が「お話し会参加者数」となっています。図書館でのお話し会は、月に何回か、集まるのは主に小学校低学年かなと思うのですが、小学校向けのお話し会の参加者数と成果指標の貸出者数の関連性が分かりませんでした。また、貸出者数というのは、市民全体に対してなのかということも教えていただきたいと思います。

○宍戸健悦教育長　学力向上推進監。

○仲上浩一学力向上推進監　一つ目の「協同的な学び」についてお答えいたします。石巻市では、平成２６年以降に広島大学の栗原先生をお呼びしており、先生が推進しているＭＬＡの中の協同学習はこの漢字を使っています。石巻市でも１０年ほど前から、この協同学習を表記上使うことが多くあります。大きな意味としては、教え合いと学び合いを同時に行い、参加者が役割を持ちながら、共通の目標達成を目指していくというものです。

それから、文科省が推進している、協力の協に働くという「協働学習」は、色々な考え方や取組がある中で、他の人と協力しながら、共通の目標に向かっていくというものです。ですので、ここの表記については協力の協に同じという表現を使っていますが、場合によっては文科省が推進する協働の意味も含まれてくるのですが、そこのすみわけは表記上では難しいので、実践の中で、各学校と教育活動の中で調整していこうと思います。

○宍戸健悦教育長　学校教育課長。

○福田光一学校教育課長　二つ目の情報モラルについてです。

ご指摘のとおりＩＣＴの有効な活用の使い方も含めた指導になりますので、情報モラルでは、古かったと思っております。訂正が可能であれば、情報リテラシーを検討していきたいと思います。

○宍戸健悦教育長　図書館長。

○瀬川信行図書館長　三つ目のお話し会の参加者数と貸出者数の関連性についてお答えします。

読書環境整備事業は、図書を購入し、おはなし会でその本を活用するということなので、読書環境整備事業の中の一部の活動指標と考えてもらえればいいのかなと思います。おはなし会

というのは小学校に入る前の子供たちを対象にした事業でして、図書館では、金曜日と土曜日に定期的に行っています。お話し会の参加者数は、各総合支所館内で行っている出張図書館でのお話し会も含めた人数としています。

また、貸出者数は市全体の実績としております。関連性につきましては、少し弱いかなという感じもしますが、総合計画との関連もあって簡単には直せないところもありますので、来年に向けて検討させていただきたいと思います。

○梶谷美智子委員　直した方がいいという考えではなく、今説明があったように、赤ちゃんや入学前の子供たちを対象にしたお話し会や小学生が対象のもあったと思いますが。分庁舎でも行っているかもしれませんが、参加できる幼児や児童は限られていると思います。ですので、限られた数を活動指標としていたので残念だなと思いました。それが市全体の貸出者数の増加にどのように関わっていくと考えてこの活動指標が出てきたのかをお聞きしたかったのです。

図書館でも本や読書に親しむように、いろいろな企画を行っているわけですけれども、それが、子供たちの読書につながり、さらに、成人や市全体に広がるといいなと考えていますので、活動指標や成果指標の捉え方をしっかりしていただき、重点的なものを強く打ち出して欲しいなと思ってお話しさせていただきました。

それから、正式名称は忘れましたが、昨年度、読書推進計画も新しくつくられたと思いますので、ぜひ、則って事業を進めていただけたらと思います。

○宍戸健悦教育長　生涯学習課長。

○高橋秀和生涯学習課長兼博物館長　昨年の２月にブックスタート事業ということで、名称変更をしておりますが計画を策定しています。ブックスタート事業は生涯学習課が主でやっていますが、図書館とも連携しながら、読書ボランティアの育成を通じて、読み聞かせをしていただく方々を増やすことも取り組んでいるところです。

目標達成のためには、生涯学習課だけでなく、図書館や健康推進課、様々な部署と連携しながら取り組んでいく必要があります。来年度に向けて、さらに連携を深めながら、目標の進捗管理の方法を確立し、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

○宍戸健悦教育長　では、先ほどの情報モラルについては、モラルを含んだリテラシーということで修正していただきたいと思います。

図書館については、お話し会の参加者とありましたが、大人も対象にするなど、大人も子供も読書に親しむ機会を多くすることによって、この指標に合った充実が図れるのではないかなというふうに思います。全体の図書の貸出が増えるような事業展開を図書館でさらに検討するようよろしくお願いします。

それではほかにございませんか。

今泉委員。

○今泉良正委員　複数あるのですが、まず、３７ページのコミュニティ・スクール推進事業の実施内容ですが、今年から石巻市はコミュニティ・スクールが高校も含めて全部の学校に導入済みということで、学校評議員から学校運営協議会への移行と書かれていますが、これはもう終わっているのではないかと思います。

次に、自己評価等結果の教育委員会への報告及び保護者への公表とありますが、自己評価については法律で決まっていることなので、コミュニティ・スクールに関係するのかなと思います。学校運営協議会に関係するとすれば、自己評価ではなくて、学校関係者評価ではないのかという疑問があります。

それから、活動指標の学校運営協議会の開催回数について、国としては、できるだけ多く行っていくという方針です。その中で回数を限定してしまうのはどうなのかなと思いました。学校によっては毎月行い、成果を出しているところもあります。なので、この回数を目標値としてしまうのは違うのではないかと思いました。

それから、成果指標の地域と学校が協働した活動回数とありますが、これは、地域学校協働活動になり、つまり、これはコミュニティ・スクールではありません。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は別のものなので、コミュニティ・スクール推進事業の指標に地域学校協働活動の回数を出すというのはどうなのかと疑問に思いました。

○宍戸健悦教育長　学校教育課長。

○福田光一学校教育課長　事業の実施内容ですが、今年から全校に学校運営協議会設置されましたが、移行期間も含めたため、学校評議委員という言葉が入っていました。これから可能であれば、修正したいと思います。この計画を立てた当初はまだ学校運営協議会があったという流れの中でこれから移行しますというところで示させてもらいました。自己評価結果についても同じように学校運営協議会の流れを組んでいたところなので、もし可能であれば修正していきたいと思います。

それから、活動指標の目標値は、来年から桃生地区が２校閉校するので減っていますが、年４回開催を目標値にしております。成果指標も御指摘のとおり、分類が難しく苦し紛れの指標にしたようなところがあり、正確な指標が必要かと思っております。しかし、先ほどにもありましたとおり総合計画との関連があり、この目標設定が簡単に変えられないというところもありますので、今後の検討課題にさせていただきたいと思います。

○今泉良正委員　よろしくお願いします。

続いて、３５ページに実施事業内容の②地域との連携・協働による学習活動の充実とあり、協働教育推進事業が重点取組事業となっております。その実施内容に協働教育推進委託事業とありますが、確か石巻市では今年からやめたのではなかったでしょうか。それから、３６ページの放課後子ども教室開設数ですが、放課後子ども教室は文科省の事業として全部の学校でやりましょうとなっています。２０２５年にも新しいプランが国から出されましたけれども、全部の学校でというのは当たり前になってきています。その中で石巻は、現在、４か所で来年から１か所増えるみたいですが、目標値が少ないのではないかと思います。

○宍戸健悦教育長　生涯学習課長。

○高橋秀和生涯学習課長兼博物館長　３５ページの協働教育推進事業の事業内容の部分については、御指摘のとおり、委託事業は終了しています。こちらは削除の方向で進めさせていただきたいと思います。

３６ページの放課後子ども教室については、現在は４か所で来年度から鹿又小学校がスタートの予定で５か所という状況になっています。正直なところ、保健福祉部との調整等が進んで

いない部分があります。現時点では、この目標値が妥当ではないかと考え設定しています。当然、最終的には全校配置を目標に今後も取り組んでいきたいと考えています。

○今泉良正委員　放課後子ども教室につきましては、実施要綱のようなものをつくっていただくともっと進むのではないかと思います。例えば、申込方法や必要書類、費用等、全体的な要綱がないと団体としては非常にやりにくいと思います。他の市町村を参考にしていただき、今後に向けてぜひ検討していただきたいと思います。

○宍戸健悦教育長　生涯学習課長。

○高橋秀和生涯学習課長兼博物館長　来年度から協働教育はじめ生涯学習の推進に関して、計画を見直す予定です。他自治体の事例等を参考にしながら、進めていきたいと思います。

○宍戸健悦教育長　学校教育課長。

○福田光一学校教育課長　申し訳ございません、誤りがありました。１９ページ、電子図書整備事業の目標値が誤っており、年間電子書籍閲覧冊数と下の年間電子書籍読了数が同じ数字になっていました。Ｙｏｍｏｋｋａ！のデータの閲覧冊数は、子供が自分のウェブ上にある本棚に持ってきて、１ページでも開くと１に数えられ、読了数は、最後までページをめくった数になります。ですので、閲覧冊数の目標値は、令和６年度が１６０冊、読了数は１６冊となり、閲覧冊数の１０％を読み終えるという目標で取り組んでいきたいと考えています。ここも総合計画との関係で簡単に数字が変更できないため、今後タイミングを見て、修正していきたいと思います。

○宍戸健悦教育長　これは令和５年１月に策定しているので、今後もう一度、しっかりと見直しをして、しかるべきときに全体の整合が取れるようにしていただきたいと思います。ということで、一部の修正箇所について、修正が可能かという部分でどのように対応したらよいのでしょうか。

○宍戸健悦教育長　教育総務課長。

○赤坂将人教育総務課長　ただいま御指摘がありました内容について、文言誤りは、改めて修正可能かを確認した上で、修正させていただきたいと思います。目標値等については、総合計画とリンクしています。前期計画はもう修正ができませんが、これから後期計画に入ってくるので、しかるべきタイミングで調整させていただきたいと思っております。

○宍戸健悦教育長　ほかにございませんか。

（「なし」との声あり。）

○宍戸健悦教育長　それでは御指摘のあった部分につきましては今後の検討課題ということで、原案のとおり、決することとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

○宍戸健悦教育長　それでは、異議がありませんので第１号議案については原案のとおり可決いたします。

日程追加について

○宍戸健悦教育長　それではここで委員の皆様にお諮りいたします。

本日の議事日程に、「職員の処分（措置）について」、２議案を追加して審議いただきたい旨、事務局から申し出がありましたので、石巻市教育委員会会議規則第１１条の規定に基づ

き、議事日程に追加することとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

○宍戸健悦教育長　異議がありませんので、第２号議案及び第３号議案の「職員の処分（措置）について」を日程に追加します。

第２号議案　職員の処分について

第３号議案　職員の人事について

○宍戸健悦教育長　本議案は人事案件ですので、秘密会として審議することとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

○宍戸健悦教育長　それでは、御異議ございませんので、秘密会で審議することといたします。

それでは、委員及び関係説明員以外の方は、暫時退室をお願いいたします。

（秘密会開催）

その他

○宍戸健悦教育長　それでは、再開いたします。

審議事項を終了し、その他に入ります。

初めに、「石巻市スポーツ推進計画の改訂に伴う説明について」教育総務課長から説明をお願いします。

○赤坂将人教育総務課長　それでは、石巻市スポーツ推進計画の改訂に伴う説明について、石巻市長から１月２２日付で、石巻市スポーツ推進計画の令和６年度改訂についてスポーツ基本法第１０条第２項の規定により、教育委員会に対して意見を求められましたことから、本日、計画書の内容について、スポーツ振興課から説明をしていただきますので、御確認頂いたところに対しまして、質疑等していただければと思っております。

次回、２月の定例会において意見を取りまとめたいと考えておりましたので、よろしくお願いいたします。

それでは説明につきましては、市民生活部から説明をお願いいたします。

○宍戸健悦教育長　スポーツ振興課課長補佐兼振興係長。

○門間一也スポーツ振興課長補佐兼振興係長　石巻市スポーツ推進計画（案）を説明させていただきたいと思います。スポーツ推進計画（案）の冊子を準備願います。今回、直前に修正した点がございまして、事前に配付した資料から修正した点につきましては該当ページのところで説明をさせていただきます。

初めに冊子を１枚目めくっていただきますと、市長の挨拶がありまして、次ページが目次となっております。今回の計画は、第１章から第５章の５章立てで作成をしております。そして、次のページからは、第１章の内容です。第１章の内容は１から５までの構成で、計画の策定の趣旨、そして計画の位置付け、期間、国、県の取組内容です。

２ページをお開きください。こちらが計画策定の趣旨です。石巻市スポーツ推進計画は、平

成２９年度に策定した１０年間の計画で、令和８年度まで計画期間としておりました。その計画期間中に東日本大震災という大きな災害を経験しまして、その後、生まれました石巻復興マラソンやツールド東北など、震災を契機に大規模イベントなどが市内で開催されるようになりました。また当時、教育委員会の体育振興課と石巻市復興政策部東京オリンピックパラリンピック推進室が両方ともスポーツに関する事務を行っている部署だったのですが、市長部局に一元化することで、社会的課題に対応し、まちづくりの観点から事業展開を推進する体制を整えるとしてスポーツ振興課ができまして、こちらの計画の所管になっております。

計画期間が１０年間はあったものの、石巻市内でもスポーツを取り巻く環境が大きく変化しております。さらに、２０２２年の３月には国の第３期スポーツ基本計画、翌年には県の第２期スポーツ推進計画が策定されまして、本市といたしましても、「スポーツでみんなが輝き煌めきを増す　Ａｃｔｉｖｅ　Ｃｉｔｙ　Ｉｓｈｉｎｏｍａｋｉ」を基本理念とし、今の計画を全部改訂するという流れです。

３ページ目は、計画の位置付け、計画期間です。

４ページ目は、国の取組、５ページ目は、県の取組となっています。

国の取組で大きく変わった点というのが、新たに３つの視点を追加しています。「つくる／はぐぐむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」という視点からいろいろな事業展開をしていますが、特に国では、③の「スポーツによる健康増進」と④の「スポーツによる地方創生、まちづくり」を第２期、第３期基本計画でかなり力を入れている点です。県の取組につきましては、国の計画に倣い作成しております。

次に６ページをお開きください。今回、スポーツ推進計画を全部改訂するに当たり、大切なのが国においてのスポーツの捉え方というところです。こちらをコラムの中で解説しております。スポーツについては、国のスポーツ基本法という法律の中で定義付けされておりまして、欄の真ん中から下のところに書いてあります。「ルールに基づいて実施する運動競技だけでなく、健康づくりを目的としたウオーキングや散歩、レクリエーション活動、徒歩や自転車での通勤などの意識的に体を動かすこと全てがスポーツと捉えることができます。」となっておりまして、今回の計画の中にもその要素が入っております。

第２章は、市の現状と課題です。社会的状況と本市のスポーツに関する取組内容が記載されております。

８ページは、人口についてです。

９ページは、平均寿命と健康寿命についてです。これは市内の令和３年度の状況で上段が平均寿命です。濃い色が男性で薄い色が女性です。下段は健康寿命で、上段が男性、下段が女性となっております。

１０ページは、今の石巻市内の要支援、要介護状況です。濃い色が男性、薄い色が女性です。平均寿命が長い分、女性の方が要支援、要介護の人数が多いという傾向です。そして、下段が肥満割合者・メタボリックシンドローム該当者です。この表の肥満割合は、身長と体重を掛けたり割ったりして計算するものですので、骨の骨密度や筋肉量によって、体型から想像がつかないくらい体重が重い方も含まれますので、どちらかというと我々はメタボ該当者の割合に着目しております。長年にわたって宮城県というのは全国ワースト３から抜け出せず、その

中でも、石巻市はメタボの該当者割合が県内１２位という状況です。

１１ページは、小学生・中学生の肥満傾向についてです。

１２ページは、子どもの体力についてです。こちらの表の青い線は石巻市、やや濃い線が県、１番薄い線が全国の数値となっております。

１３ページは、本市のスポーツに関する取組です。こちらは、今の計画の成果指標の達成状況です。全ての項目におきまして、やや未達の状況です。下の表は、今回の改訂にあたりアンケート調査をしておりまして、スポーツに関する満足度と施策の重要度を測っております。この表は、右に行くほど満足度が高く、４点満点となっております。上に上がるほど市民の方が重要だと考えているということです。特に６番７番の重要度は高いのですが満足度が低いという状況で、６番のスポーツ指導者の養成と確保、７番の地域のスポーツ環境の充実について、市民は重要として考えているが、満足度としては低い状況だということを示しております。

１４ページは、現状についてです。今回の計画を策定するにあたって行いましたアンケート調査の結果を記載しており、「みる」「する」「ささえる」の３つの視点から、現状を出しております。まず「みる」スポーツの現状は、スポーツを生で観戦したことがあるかを聞いております。結果は、生でスポーツ観戦をする方は少なく２割程度しかいませんでした。反対にコロナ禍の影響もありテレビ観戦する人が多くなっています。

次に「する」スポーツの現状についてです。スポーツというのは先ほどお話ししたとおり、軽微な運動もスポーツに含むということも踏まえてアンケート調査を実施したところ、５８．６％ということで、国のスポーツ実施率よりやや高い数字が出ております。

続いて、「ささえる」スポーツの現状です。こちらは、スポーツボランティアの参画率を聞いております。石巻市のスポーツボランティアの参画率は低く９．０％でした。なお、この９．０％の人たちにコロナ禍においてもボランティアに参加しましたかという質問をしたところ、参加した人の割合は７５．９％で、ボランティア参加の意識が強い方は、どんな状況であっても参加する傾向があることが分かりました。また、今後の参画意向について、スポーツボランティアをしたいという回答は９．５％と少なく、課題として残っております。

１７ページは、学校部活動の地域移行について、国のガイドラインを示しております。今回修正した部分が、上から２行目の学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行というとことで、タイトルもこの名前に変更したいと思います。

１８ページは、学校部活動の地域移行に関する現状の把握です。アンケート調査は中学校の学校長、教職員、小学５年生及び中学１・２年生の児童生徒と保護者に対して実施しており、調査結果の概要は１８ページ以降に掲載しています。部活動の地域移行に対して期待することは「専門的な技術の向上」が多く、課題として教職員からは「指導者が変わることに対する子供たちの混乱」、保護者からは「活動場所や大会会場までの送迎」を心配しているという状況でした。１９ページに修正がありまして、下から３行目「地域クラブ（総合型、競技別）や指導者等の確保に努めるなど、地域クラブの活動への移行に向けた準備を進めていきます。」と変更しています。

２０ページは、意見交換の結果概要です。石巻市内の各スポーツ競技協会やスポーツ少年団の指導者と意見交換しました。競技協会の方々は一堂に集まっていただいたのですが、スポー

ツ少年団の指導者については、競技ごとに意見が異なりますので、競技別に集まっていただきました。

野球のスポーツ少年団の指導者からは、ボールの大きさが違うということで、小学生の子供たちに教える合間に中学生を教えるということはかなり厳しいという意見がありました。しかし、中学校の野球も衰退させたくないという思いもあるので、様々な協力はしていきたいという話が出ております。

剣道や空手などの個人競技は、既に同じ道場に通っている中学生もいるので、地域移行は問題ないという話をされております。２０ページも修正があり、下から３行目「中学生の受け入れが可能な地域クラブ（総合型、競技別）等について情報収集し、石巻市教育委員会と連携しながら今後に向けた取組を進めていきます。」と変更しています。

２１、２２ページは、今回のアンケート調査から見えてきた現状と課題で５つ記載しています。

２３、２４ページは、第３章、本市の目指すべき姿について基本理念を記載しています。

２６、２７ページは、基本方針を３つ記載しています。

３５ページからは、基本方針と取組内容についてです。まず「みる」スポーツについては、観戦機会の充実、観戦の楽しさの普及を進めていきたいと考えております。次に「する」スポーツについては、日常生活における運動習慣定着化の推進、健康教室やスポーツ教室、イベントの開催と支援を行い、石巻市内でスポーツができる環境を整えるというものでございます。

３９ページも修正があります。基本施策１－３の解説文の下から２行目、「地域クラブ（総合型、競技別）や指導者等の確保に努め、子どもたちのスポーツの推進を図ります。」と変更しています。

４０ページは、多様なライフスタイルにおける気軽なスポーツ参加への意識醸成についてです。働き世代や子育て世代のスポーツの実施率というのが全国的にも低く、石巻も同様に低い状況です。この世代にスポーツに取り組んでもらえられるように進めていきたいと思っております。特に、ビジネスパーソンが取り組められるような時間帯でのイベントや子供と一緒に参加できるスポーツイベントなど様々な展開を考えているところです。

４６ページは、基本方針２、絆とつながりのアクティベーションによる地域活性化の実現についてです。スポーツによってつながりを持ち、様々なスポーツを紹介しながら、生涯にわたって続けられるような取組、事業を記載しております。特に、大学スポーツや石巻のスポーツ協会、包括連携協定を結んでいるプロスポーツとの連携をしながら、様々なスポーツを推進していきたいと考えています。

５５ページは、第５章、成果指標です。各基本方針における成果指標を出しております。基本方針１に関しては健康寿命の延伸ということで、健康寿命をなるべく平均寿命に近づけたいということで、目標を平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加としており、数値ではないですが、平均寿命が増加していく分、健康寿命はそれを上回る伸び率にしていきたいと思っております。

基本方針２の成果指標はスポーツの実施率です。令和５年から令和１６年までに７０．０％の実施率を目指そうとしております。国の第３期スポーツ基本計画におきましては、既に７

０．０％という設定をしております。

基本方針３は、スポーツ施策の市民満足度です。こちらは９０．０％まで上げたいと考えています。ただ、満足度を測る上で、アンケート調査の対象者は毎回異なるので、曖昧な部分や個人的な主観が強く出てしまう部分もあるので、満足度調査の他に、客観的指標として、スポーツを使った交流人口の増加分とスポーツ施策の市民満足度を測った上で総合的に判断していきたいと思っております。計画の概要は以上です。

○宍戸健悦教育長　それでは、ただいまの説明に対して御質問等ございませんか。

今泉委員。

○今泉良正委員　基本施策１－３の子どもたちのスポーツの推進について、できればもう少し学校体育や部活動の地域移行に踏み込んでもいいのではないかと思いました。現在は、学校だけの教育ではなく地域も巻き込んでということになっていますので、学校体育にもスポーツ推進員を導入することや放課後児童クラブや放課後子ども教室にも、スポーツ環境の充実を図ることもよいのではないかと思いました。

○宍戸健悦教育長　スポーツ振興課長補佐兼振興係長。

○門間スポーツ振興課長補佐兼振興係長　教育委員会や放課後児童クラブを担当している子育て支援課などと協議をしまして、この中の取組について、実施可能な内容を加えていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

○宍戸健悦教育長　検討できるということでよろしくお願いします。ほかにございませんか。

大和委員。

○大和千恵委員　全体的にグラフの色が偏っていて、グラフとしては見づらいと思うので、見やすい形に訂正いただきたいと思います。

それから、５６ページの成果指標のところで現状のスポーツの実施率が３２．３％で目標が７０．０％というのはかなり向上させないと目標に達成できないかなと思っていて、私も石巻に住むようになってから車生活が主なので、歩こうと思わないと歩く機会が少なかったり、地形的な問題でお年寄りが簡単に歩けないところも結構多かったりします。長く住まわれている方は歩いていないという意識も少ないかもしれません。例えば、これくらいは歩きましょうなどといった目標を具体的に示して、スポーツしましょうという声掛けよりは、具体的な何かを呼びかけるといいのではないかと思いました。

○宍戸健悦教育長　スポーツ振興課長補佐兼振興係長。

○門間スポーツ振興課長補佐兼振興係長　グラフ等々の色については、業者さんと検討しておりまして、分かりやすい色に変更したいと思っております。

スポーツ実施率に関して目標を掲げたらどうかということですが、これは実施の段階で必要かと思っております。どこの自治体かは失念したのですが、町全体でウォーキングを推進したところ、町の保険料が抑制されたという実績もありますので、歩くことによっての効果やインセンティブを考え、推進していきたいと思っております。

○大和千恵委員　今後、学校の統合によってスクールバスで通学する子供が増えていくと歩く機会が本当に減っていくと思うので、放課後の使い方などについて教育委員会とスポーツ振

興課で一緒に取り組んでいけたらいいのかなと思います。

○宍戸健悦教育長　ほかにございませんか。

依田委員。

○依田晴美委員　以前、地域の方とノルディックウォーキングについて話をしていた時に、どうやって参加すればいいのか分からないという話になりました。情報発信や参加まで手軽に行えるようなシステムがないとスポーツに参加するというのは難しいのではないかなと思うのですが、そういうものは施策の中では考えているのでしょうか。

○宍戸健悦教育長　スポーツ振興課長補佐兼振興係長。

○門間スポーツ振興課長補佐兼振興係長　確かに事業を進める上で、石巻市のスポーツ施策に関して、情報発信が非常に弱いというのは痛感しております。情報を効率よく発信し、皆様が気軽に実施できるように進めていきたいと思っております。

○宍戸健悦教育長　１６ページに「ささえる」スポーツがありますが、非常に数値が低い状況になっています、基本施策の１－４では「みる」「する」というのが強調されていて、スポーツボランティアとは入っていますが「ささえる」ところの比率が低いので、施策の項立てとして「ささえる」も強調していかないと数値が高まっていかないのではないかと思います。そのあたりの「ささえる」という部分の項立てについてはいかがでしょうか。

○門間スポーツ振興課長補佐兼振興係長　確かに「ささえる」というところは力を入れていきたいところです。基本施策１－５には障害者スポーツボランティアの育成と入れておりますが、スポーツ振興課ではボランティア育成の取組はこれまでされていない状況で、大規模イベントでも仙台市と比べるとボランティアの数が圧倒的に少なく、運営にも支障が出ている状況です。なので、もう少し明確な取組を出していきながら、力を入れていきたいポイントです。

○宍戸健悦教育長　ほかにございませんか。それでは、この件については終わりといたします。

それでは各委員の皆さんから何かございませんか。

（「なし」との声あり。）

それでは、各課長の皆さんから何かございませんか。

教育総務課長。

○赤坂将人教育総務課長　机上配付しております、教育委員会関連主な情報一覧の１番を御覧ください。石巻めぐみ野ライオンズクラブ様からいただいた寄附金の贈呈式を令和６年１２月２６日に行いました。ライオンズクラブ様には平成２７年から１０年連続で寄附を頂いておりまして、今年度も小学校と中学校の一般材教材費に充当し、こちらの１０万円を活用したいと思っております。

○宍戸健悦教育長　生涯学習課長。

○高橋秀和生涯学習課長兼博物館長　同じく、主な情報一覧の２番、石巻市博物館協議会の開催について報告させていただきます。令和６年の第１１回定例会で委員の委嘱に関して御審議を頂いたところですが、１月１０日金曜日午後２時から博物館の企画展示室におきまして第１回目の協議会を開催しました。

教育長からの委嘱状交付、会長副会長の選任、資料収集専門部会の設置、協議会の運営要綱

について御審議をいただきました。委員につきましては５名を委嘱していますが、１回目は４名の出席でした。会長には、仙台市博物館副館長の樋口様、副会長には石巻市社会教育委員会副議長の伊藤様が選任されています。

今年度はあと１回、博物館協議会の開催をして、基本的な資料収集や専門部会の具体的な中身等を進めていく予定です。

また、資料はありませんが１月２５日から第１０回企画展「みちのくの金と金華山」を開催していますので、ぜひ御覧頂ければと思います。

○宍戸健悦教育長　石巻中央公民館長。

○石巻中央公民館長髙橋伸明　同じく主な情報一覧の３番、石巻中央公民館における公共施設予約システムの限定運用について報告いたします。

公共施設予約システムは、ＬＩＮＥから石巻中央公民館の空室状況の確認や施設予約を可能とするものであり、当公民館とＤＸ推進課との共同で開発及び試験運用を行っておりましたが、利用が可能となったことから、市民団体等を対象とする前段階として、本市の各課を対象とし、令和７年２月１日より運用を開始します。

なお、市民団体等を対象とする運用は、今回の限定運用の結果を検証したのちに令和７年４月以降に運用開始予定としており、市ホームページや市報にて周知予定としております。

また、他公民館の公共施設予約システムについては、将来的に導入したいと考えていますが、現段階で運用開始時期は未定となっております。

○宍戸健悦教育長　そのほかございませんか。

（「なし」との声あり。）

○宍戸健悦教育長　ないようでしたら、次回の定例会の日程についてお願いします。

○成澤和彦教育総務課長補佐　次回２月の定例会につきましては、２月２７日木曜日、午後４時から開催する予定です。場所につきましては、市役所４階庁議室で開催いたします。

○宍戸健悦教育長　それでは以上をもちまして本日の定例会を終了いたします。

ありがとうございました。

午後４時３７分　　閉会

教 育 長　宍戸　健悦

署名委員　今泉　良正